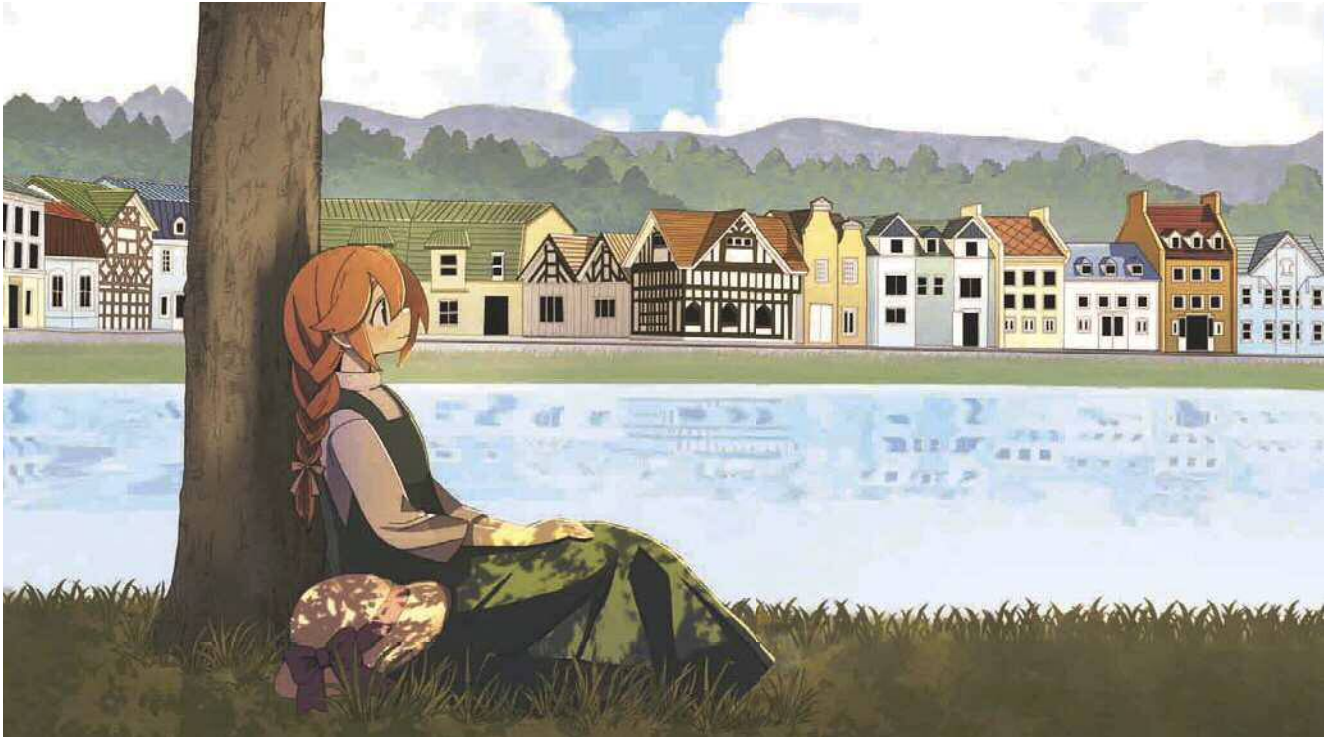


あしべつ

市議会だより

2022年
8月1日
No.24

芦別市議会ホームページ <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/shisei/gikai/>



本市の地域おこし協力隊である岩崎佳奈美さんが作成したあしべつの風景イラスト「カナディアンワールド公園」です。岩崎さんの作品は市役所正面玄関のほか、道の駅やJR芦別・上芦別・野花南の各駅、総合体育館、三段滝公園、新城峠などでも見ることができますので、ぜひご覧ください。（市議会ホームページでは本紙のカラー版を掲載しています。）

主な内容

- ◎ 一般国道452号盤の沢道路「鏡トンネル」の工事現場を視察しました 2
- ◎ 6月定例会一般質問…………… 2〜7
- ◎ 6月定例会の議決結果…………… 7
- ◎ 9月定例会市議会のお知らせ…………… 8

新型コロナウイルス感染症の影響により、芦別市議会が加盟しています各団体の定期総会は、この2年間、書面会議となっておりましたが、感染予防対策を図り4月27日に富良野市で北海道市議会議長会定期総会、5月16日に東京都で全国自治体病院経営都市議会議長会定期総会、25日に東京都で全国市議会議長会定期総会が開催され、少しづつではありますが、コロナ前のように会議が開催されるようになってきました。各定期総会では、各地域での課題などの議案を協議し承認され、国、国会議員へ要望することが決定し、会長はじめ役員が要望活動を行いました。

また、芦別市内においては、2年間で中止となっておりました芦別消防演習が7月3日に実施され、消防職員、消防団員の皆様の日頃の訓練の成果、分列式冒頭では、芦別みどり幼稚園幼年消防クラブの園児の皆さんの笑顔と元気いっばいの姿を見させていただきました。

残念なことに、新型コロナウイルス感染症が終息しないことから、今年も芦別健康まつり、キラキラ☆フェスタあしべつが中止となりましたが、芦別健康夏山笠では、各流において昇き山が市民の皆様に披露されたことで、芦別の夏のイベントを思い出していたのではないかと考えています。来年こそは芦別健康まつり、キラキラ☆フェスタあしべつが開催されますことを期待しているところでもあります。

新型コロナウイルスについては、オミクロン株BA・2からBA・5へと置き換わり、第7波が心配される所からあります。また、熱中症の心配もありますので市民の皆様には状況に応じたマスクの着用、手指消毒などの感染予防対策を引き続き行っていただき、この夏を健やかに過ごしていただきたいと思います。



議長動静

芦別市議会議長 田森 良隆

一般国道452号盤の沢道路 「鏡トンネル」の工事現場を視察しました

5月26日、夕張市と旭川市を結ぶ国道452号の未開通区間にある盤の沢道路の鏡トンネル掘削現場が初めて公開されました。一般国道452号は、夕張市を起点に旭川市に至る延長約110キロメートルの幹線道路です。その内盤の沢道路は、通行不能区間の解消を図り、地域間交流の活性化及び物流効率化等の支援を目的とした、芦別市黄金



町から上川郡美瑛町字ルベンベに至る延長18・5キロメートルの区間のうち6・8キロメートルの事業であり、鏡トンネルは事業区間の中間に位置する2102メートルのトンネルです。昨年3月から291メートル掘り進めて進捗率は14%とのことです。同トンネルの工期は2025年3月ですが、岩盤が想定より軟らかく難工事が続いて



いる状況だということ、札幌開発建設部より荻原市長、市議会議員に説明いただきました。盤の沢道路は1993年に事業着手され、事業費は242億円。全面開通後は芦別市街から旭川空港間が夏場で現在より25分短い51分になりますが、完成のめどは立っていません。いち早い完成を引き続き訴え続けてまいります。



6月定例会 一般質問

無所属



若松 市政 議員

農業の振興について

質問

国や北海道からの農業経営者支援策はどのようなものか。前回3月定例会以後、何らかの進展があったのか伺う。

答弁

国においては、コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策が策定され、一つには肥料の安定調達と価格高騰、二つには肥料の価格高騰、三つには金融支援これらの対策を講じていることとあります。

肥料については製造事業者に対し、本年秋までに調達する主要な化学肥料原料を代替国から調達するコスト上昇分の掛かり増し経費を支援するもので、飼料については、異常な価格高騰時に通常の価格補填金を補完する「異常補填基金」への積み増しで、異常補填金として基金管理団体を通じて生産者に支払われるものであり、金融支援については、日本政策金融公庫など貸付当初5年間実質無利子化を措置するものであります。

質問

道の駅での農産物販売に所を設けることはできないのか。また市内農畜産物に付加価値を付けて販売力を高める方法などの考えについて伺う。

答弁

「かあちゃん市」を運営する芦別建設企業組合に確認したところ、生産者が出荷する農産物の種類が競合し売れ残りが発生した場合、生産者が引き取ることになるため、販売の受入れをする農産物の種類や数量は運営者において調整管理されていることから、販売数量に見合ったスペースは十分確保されていることとあります。

これまで生産者から道の駅での販売に際して、付加価値を高める方法についての具体的な相談は受けておりませんが、相談があった場合には、高収益作物の情報提供や栽培相談などについて、関係機関と行ってまいりたいと考えております。

芦別市の観光について

質問

三段滝公園トイレの施設整備完成と供用開始時期について伺う。

答弁

機械設備工事及び電気設備工事については、いずれも工期が4月25日から7月29日となっておりますが、できるだけ早期の完工を目指して進めてまいります。

官民協働のまちづくりについて

質問

民間の資本や考え方を市のまちづくりに取り入れていくことについて伺う。

答弁

民間と行政が連携して公共サービスを提供することは、まちづくりの視点として重要であると認識しております。

民間資本や考え方を取り入れることでサービスや利便性の向上、民間事業者の事業機会の確保と収益の増加、行政コスト縮減などの効果が期待されることから、今後、公共施設の管理運営などさまざまな分野で民間との連携による協働のまちづくりに努めてまいりたいと考えております。

日本共産党



松井 邦男 議員

あしべつ飲食・タクシー割引券の町内会経由配布について

質問

市の広報紙に折り込まれて配布されたことが、町内会役員や町内会に入っていない市民から「割引券」の町内会配布は「金券」の物件としての取り扱い認識の欠落や町内会に入っていない市民には配布されないのは、行政がしてはならない「不公平」そのものと問題視する声が寄せられた。市民生活応援商品券は郵送で届けられていたが、今回は町内会配布としたことの検討経過を伺う。

答弁

コロナ感染症拡大で売上げ減少の影響を受けた飲食

店やタクシー事業者への支援を目的とした事業で、商品券でない「割引券」は、広報紙などの世帯単位の配布物と同様に町内会を通じて配布しましたが、他市の事例を参考に初めて試験的に実施しました。

質問

折込みを知らずに広報紙を処分した市民や町内会に入っていないため、割引券が受け取れない世帯への対応を伺う。

答弁

割引券を誤って処分した世帯には、市の商工観光課窓口に来ていただき、事情を聞き、世帯主であることの確認と受取者の身分を証明できるものの提示をいただき、交付しております。町内会未加入の世帯は全体の20%、1300世帯です。

《要望意見》税金を使つての事業であり、町内会加入の如何を問わず全世帯に公平に配布されるべきで、町内会経由の配布方法は、最初から公平性に欠ける問題が想定されたはず。公平に行政サービスを提供する行政においてあってはならない「不公平」「不利益」という事態が起きたが、行政への不信を招くやり方は、今回限りでやめにしてもらいたい。

町内会に入っていない世帯に対して、行政の責任で公平に「割引券」を届けべきである。

※この他①市の税・料での所得算定の際にコロナ給付金の収入除外②コロナ感染状況と対応③市立病院、市内医院の医師確保対策は急務、開業医誘致の取り組み等を質問しました。

市民連合議員団



小川 政憲 議員

行財政改革の推進状況と今後の取り組みについて

質問

指定管理者制度の導入を年センター、図書館やなまこ山総合運動公園等の運営管理について一つも実現していないが、民間委託が直営堅持で行くのか今後の取り組み方法、方向性について伺う。

答弁

これまで、民間活力の積極的な活用や官民協働のまちづくりの観点から、文化連盟・体育協会等の既存団体、市職員OBやNPO法人に委ねることなどを目指してきましたが、会員の高齢化や人材不足等により実現には至っていないことから引き続き行財政改革の推進項目として民間委託化に向けた検討を深めてまいります。

再質問

5カ年計画の最終年度を迎え7億円以上を目標とした効果見込額は5億7000万円程度と見込まれている。その70%が職員退職者不補充、人件費独自削減等による効果額である。今回、計画期間2カ年延長を提案されたが、期間中新たな職員人件費削減等の考えがあるのか伺う。

答弁

令和4年度で終了する管理職給の削減以外考えておりません。

質問

令和5年度末の統合とされた声別・啓成両中学校に開く声別中学校の整備計画の内容について伺う。

答弁

統合校舎となる声別中学校の施設整備は大規模な改修等を実施する計画はありません。しかしながら、良好な教育環境を確保するため、来年度予算策定までに統合準備委員会を取りまとめられる必要な施設の修繕、設備の更新については検討してまいります。

観光振興について

質問

本市の玄関口である道の駅敷地内に市内観光施設の方角、距離等を示す案内看板を設置する考えはないか伺う。

答弁

案内看板があることで一定の誘客とPR効果は期待できるものの、ナビゲーションシステムやスマートフォンを利用して目的地までの経路案内を利用する方が多い現状にあることから、直ちに観光案内看板を設置する考えはありませんが、効果的なPR方法について、引き続き研究してまいります。

再質問

今年、道の駅の木製遊具を撤去する計画になっているが、事後策は考えているのか伺う。

答弁

遊具は老朽化が著しく危険性があり撤去することとしましたが、再設置等は考えておりません。

政風会



大鎌 光純 議員

立地適正化計画について

質問

「立地適正化計画」策定における居住誘導区域及び都市機能誘導区域の設定について伺う。

答弁

居住誘導区域の設定は、都市計画区域内の用途指定区域内において、これまで土地区画整理事業を実施した地域を基本とし、公営住宅団地を含めた区域での設定を考えております。

また、都市機能誘導区域の設定は、居住誘導区域内において、「都市計画マスタープラン」の将来都市構造の拠点として位置付けられている駅周辺、道の駅周辺、市立病院周辺の3か所を基本とし、公共交通結核点である声別駅のほか、主要な公共施設や商業・福祉・医療施設を含む徒歩圏内半径800メートル以内の範囲での設定を考えており、現在、各区域の設定作業を進めているところです。

質問

「立地適正化計画」において公共交通ネットワークを具体的にどのように運用していくのか伺う。

答弁

「立地適正化計画」では、都市計画と公共交通の一体化が求められ、住居や都市の生活を支

える機能の誘導によるコンパクトなまちづくりと地域交通の再編と連携によりまちづくりを進めるものと都市計画運用指針で示されております。

なお、別途、声別市地域公共交通会議が公共交通ネットワークの構築に向け策定を進めている「地域公共交通計画」と連携し、各地域を結ぶ交通サービスとして運用する考えですが、年内を目標に具体的な運用方策を示したいと考えております。

行政運営について

質問

今現在、どの部署でどれだけの人員が足りていないのか、人員不足による市民サービスへの影響や職員への負担について伺う。

答弁

現在、企画政策課、市民課、上下水道課など11名の欠員が生じているため、会計年度任用職員の配置や職員の時間外勤務により対応していることから、現状では、住民サービスに影響が生じておりませんが、職員への負担が増えていることから、これを解消するため、年度途中の職員採用を継続して募集しているところであり、これまでの広報やホームページによる募集だけではなく、学校訪問も含めた積極的な活動を実施し、人材確保に努めてまいります。



政風会



北村 真 議員

中学校の統合について

質問

以前、統合の目的についてお伺いした際に「生徒の教育環境の整備が第一であり、中学校において一定程度の生徒の規模を確保していく中で切磋琢磨をしながら、さまざまな活動の機会を持てるという環境の確保」との観点であるという答弁をいただいたが、中学校を統合した際に啓成中学校のような小規模校と統合後の中学校のようなある程度の規模を有した中学校で生まれる切磋琢磨できる環境の差についてどのように考えているのか伺う。

答弁

一般的に小規模校においてはクラス替えやクラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない。部活動の種類が限定される。体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施や班活動及びグループ分けに制約が生じる。児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい。教員への依存心が強まる可能性がある。多様な物の見方や考え方・表現の仕方に触れることや、多面的な評価の中で個性を伸ばすことが難しい等の課題が生じる可能性があると考えられています。統合により、これらの課題への対応に向けて、より一層、教育環境の充実が図られるとともに、これまで以上に

質問

良い意味での競い合いや切磋琢磨ができる環境が生まれ、向上心が高まることによる学習意欲の向上や、多様な人間関係の中での体験や交流が増えることによる生徒一人ひとりの豊かな心の育成が期待されるものと考えております。

答弁

児童会、生徒会の活動、学校行事、部活動、授業、学校見学などを想定しております。これらについては小学校間、中学校間だけではなく、これまでの小中一貫教育推進の取り組み成果も踏まえながら、小学校と中学校の間における交流も実施してまいりたいと考えております。交流の方法についても集合形式だけではなく、タブレット端末を活用したオンラインの実施についても検討してまいりたいと考えております。また、交流の回数については、できるだけ多くの機会を持ちたいと考えているところであります。

なお、具体的な交流の実施内容については、今後、中学校統合準備委員会で協議してまいります。

新星クラブ



新村 充 議員

路網整備の推進について

質問

森林環境譲与税を路網整備にも活用いただきたい。

林道は森林管理の動脈であり、作業路は毛細血管の役割を担う大変重要なもの。伐採、木材の搬出、造林などの作業を行う際には当然この路網を使う。林業機械や、運材車が繰り返し走ることで路網は痛むが、この痛んだ路網の修繕費用をどこが持つのか協議になることが多い。また、ウッドショックの影響で木材価格が高騰し、今までは森林整備に興味のなかった山林の所有者からの問い合わせが多くなってきている。実際に現地見学を希望する所有者もいるが、路網が整備されておらず、現地を見られないケースも出てきている。路網整備に森林環境譲与税を使うことができないか伺う。

答弁

令和5年度より、植林や間伐などの森林整備事業の附帯となる路網整備に対し、活用してまいりたいと考えております。

雪の有効活用について

質問

美唄市や沼田町のような雪冷房施設の導入について、本市の考えを伺う。

答弁

雪を貯蔵するための貯雪庫の設置や熱交換設備にかかる費用面などから、施設建設の計画は持ち合わせておりません。

市内イベントの開催状況について

質問

いまだ本市における新規感染者数は2けた台の状態ではあるが、道内や空知管内では減少傾向である。新型コロナウイルスの影響で、市内のイベントが軒並み中止となってきたが、市民は仕方ないという思いもある反面、もうそろそろ開催を

判断しても良いのではないかなどの声も多くいただくと。なんでもかんでも中止という判断をせず、オンラインでの開催や感染対策を講じての小規模開催なども検討すべきではないか。

答弁

市内で開催される観光イベントは、主催となる実行委員会等において、新型コロナウイルスの感染拡大状況などに鑑み、市民の安全・安心を最優先として開催の有無と開催方法等について判断されているものと認識しております。

公明党



松尾 達矢 議員

地方創生臨時交付金、コロナ禍における原油価格、物価高騰対応分について

質問

学校給食費の負担への対応、事業者に対する支援について伺う。

答弁

学校給食費の値上げによる保護者負担増の考えはありません。保護者負担の軽減の対応として、地方創生臨時交付金の「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を活用する考えは持ち合わせておりません。

商品券については、これまで2度にわたり市民生活応援商品券を全市民への配布に加え、今年5月から「飲食・タクシー割引券発行事業」を実施。本

市として生活困窮者支援等を重点施策としたことから、プレミアム付き商品券の発行事業については、実施する考えは持ち合わせておりません。

事業者に対する支援は、特に肥料、資材、飼料等の物価が高騰し、農業経営に支障が生じている農畜産物生産者を支援対象として、緊急的な支援措置を講じることとしました。

子どもの未来を守る取り組みについて

質問 ヤングケアラーの実態調査と支援策について伺う。

答弁 調査の実施時期は、9月中旬以降を目途に、教育委員会をはじめ関係各課において、調査項目や実施時期、実施方法等の詳細について検討を進めてまいります。また、実際に悩みや不安を抱えている子どもに対しては、心のケアとともに、それぞれの家庭にふさわしい関係機関・関係者が寄り添い、連携しながら既存の制度やサービスを活用した支援に取り組むとともに、必要に応じて新たな支援策を模索してまいりたいと考えております。

障がい者が社会参加しやすいまちづくりについて

質問 障がい者手帳のスマホアプリ「ミライロード」の活用について伺う。

答弁 ミライロードはスマホ画面を提示することにより、割引を受けることができ、手帳の提示による心理的負担の軽減を図りながら社会参加を促し、日常生活の利便性を高めるなど、生活の質の向上が期待できると認識しております。

本市における活用については、他の自治体における導入事例を調査研究してまいりたいと考えております。※その他、「歳入を確保する方法のインターネットオークションなど」について質問しました。

政風会



樋坂 直紀 議員

芦別市の防災について

質問 避難指示は災害の危険性がある地域に絞って発表することが必要ではないか伺う。

答弁 避難に関する気象情報や防災情報は、5段階の警戒レベルによりお知らせすることとなり、警戒レベル1及び2は、気象庁より発表される注意報等の気象情報により決定され、警戒レベル3から5の避難指示は、気象庁から発表される警戒レベル相当の気象情報を基に市の災害対策本部が決定します。

また、避難指示の対象地域も、土砂災害警戒区域や危険箇所等、洪水浸水想定区域等で災害の恐れのある対象地区に絞って災害対策本部において決定することとなります。

なお、避難指示情報は、テレビやラジオ、緊急速報メール、ホームページや39メール、LINE等のSNSで危険地域を明示して市内全域へ発信されるほか、危険地域へは広報車により避難指示を行うこととしております。

災害対策本部が決定する警戒レベル3は高齢者等避難、4は全員避難、5は緊急安全確保となっており、警戒レベル3による高齢者避難指示を発令した場合は、一般の方にも、自主的な早めの避難を呼びかけてまいります。

質問 災害訓練で、車中泊訓練を取り入れていく考えがあるか伺う。

答弁 災害対策基本法では車中泊らず、避難については、指定された避難所に滞在することが原則とされておりありますが、新型コロナウイルス感染症の状況などにより、避難の際、車中泊をしなければならぬことも想定されますので、車中泊で注意すべきことノミークラス症候群や一酸化炭素中毒等の防止、健康確認の実施などを訓練に取り入れることも検討するほか、機会をとらえて車中泊を行う場合の留意点も周知してまいりたいと考えております。

質問 災害により家財道具等が浸水、又は倒壊した場合の災害廃棄物置き場を設置する考えについて伺う。

答弁 災害により大量に発生する片付けごみは、芦別市地域防災計画の廃棄物処理計画では、災害の規模に応じて学校校庭や河川敷地などの公共広場を優先に仮置き場を設置することとしており、設置の際には災害廃棄物の分別の設定を行い、土砂の搬入や衛生害虫が発生しないよう管

理することとしておりますので、災害の規模に応じて設置の必要性が生じる場合は、関係部署との連携を図り対応してまいります。

政風会



林 伸樹 議員

選択と集中による行財政改革について

質問 所管する事業の目的だけでなく、費用対効果の観点から所管を超えての情報を共有する他、横の連携を強化し専門性をもったチーム制やプロジェクト制とした業務の必要性について伺う。

答弁 現在、庁内で共通する常用物品や公用車等の修繕経費など、一定程度集約化を図りながら経費の節減に努めておりますが、今後、各公共施設等の維持管理など、各所管課で共通する経費の洗い出しを図り、物品購入等の個別経費や草刈り等の業務単位での集約化を検討したいと考えております。また、ふるさと納税推進のため、所管課の枠を超えて庁内に複数のチームを編成し、返礼品のアイデアを募集するなどの取り組みを推進してきており、今後も必要に応じて柔軟な対応を図りたいと考えております。

重点的に進めていく施策やプロジェクトに関しては、庁内横断的に職員の兼務や兼職発令に加え、行政組織機構

6月定例会 一般質問・議決結果

上の位置付けを含めた推進体制の構築についてでも検討したいと考えております。
地価動向と外資による不動産投資について

質問 外資による土地の買収など不動産投資の影響について、メリット・デメリット両方の視点から、本市での方向性を含めた見解を伺う。

答弁 メリットとして、固定資産税の増収や、建物を建設する場合の地元建設関係企業の発注の増、雇用の増等が、デメリットとして買収しようとする個人または企業の信用がわかりづらいことによる転売や固定資産税の不払いなど悪質なケースが考えられ、こういったデメリットを抑止するうえで、国土利用計画法において、一定面積以上の土地取引について市町村長の意見を付し、都道府県に届け出を行う必要があり、森林法においては、森林の規模にかかわらず届け出が必要で、無届けの場合には、罰則規定も設けられております。

しかしながら、小規模な土地取引については、届け出が不要となっており、市が関与できないことから、外資の土地取引の規制を含む法律等の整備が求められるものと認識するところです。

6月定例会において通告のあった質問項目の中から、数件を要約して掲載しています。

なお、会議録は図書館で閲覧できるほか、市議会ホームページにも掲載しています。

◆6月定例会の議決結果

6月9日、令和4年第4回市議会（定例会）が招集され、会期を17日までの9日間と定めて、令和4年度一般会計及び病院事業会計補正予算、条例制定・改正、財産の取得、工事請負契約の締結などが審議されました。議決結果は以下のとおりです。

■全員賛成の議案

議案	件名	結果	議案	件名	結果
補正予算	一般会計（第4号）	原案可決	その他	下水道事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分	承認
〃	一般会計（第5号）	原案可決	〃	スターライトホテル・国民宿舍あしべつ冷暖房設備の取得	原案可決
〃	病院事業会計（第1号）	原案可決	〃	小形除雪車（ロータリ）の取得	原案可決
条例制定	ICT活用推進条例	原案可決	〃	公営住宅ことぶき団地建替建築工事（1号棟）請負契約の締結	原案可決
〃	農畜産物生産者緊急経営支援金支給条例	原案可決	〃	公営住宅ことぶき団地建替建築工事（2号棟）請負契約の締結	原案可決
条例改正	税賦課徴収条例等	原案可決	〃	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更	原案可決
〃	基金条例	原案可決	〃	人権擁護委員候補者の推薦（被推薦者：川村真由美氏）	可と答申
〃	市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例	原案可決	報告案件	繰越明許費（一般会計）	報告済
〃	特別職報酬等審議会条例等	原案可決	〃	繰越明許費（下水道事業特別会計）	報告済
〃	就学援助費支給条例	原案可決	〃	事故繰越し（一般会計）	報告済
〃	特定不妊治療費助成条例	原案可決	〃	放棄した私債権	報告済
〃	特別職の職員の給与に関する条例の特例に関する条例	原案可決	意見書	「水田活用の直接支払交付金見直し」の再検討を求める意見書	原案可決
人事案件	公平委員会委員の選任（被選任者：大高 敦氏）	同意	〃	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決
その他	一般会計補正予算（第2号）の専決処分	承認	〃	食料安全保障の強化を図る新たな国の予算確保と国民への理解醸成を図る意見書	原案可決
〃	一般会計補正予算（第3号）の専決処分	承認	〃	環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書	原案可決

議会の動き

令和4年5月上旬～令和4年7月下旬

【5月】

- 11日 議会派代表者会議
- 16日 全国自治体病院経営都市議会協議会第50回定期総会(東京都)
- 25日 全国市議会議長会第98回定期総会(東京都)
" 滝川地区広域消防事務組合議会第1回臨時会(滝川市)
- 26日 全員協議会

【6月】

- 2日 議会派代表者会議
" 議会運営委員会
- 9日～17日 第4回市議会(定例会)
- 15日 総務常任委員会
" 議会派代表者会議
" 議会運営委員会
- 16日 社会産業常任委員会

- 16日 行財政改革調査特別委員会
- 17日 広報広聴委員会
- 19日 令和4年度滝川地区広域消防事務組合消防演習並びに滝川消防演習(滝川市)
- 26日 第68回北海道消防協会空知地方支部中空知分会連合消防演習(新十津川町)
- 28日 全員協議会

【7月】

- 3日 令和4年度芦別消防演習
- 15日 広報広聴委員会
- 19日 議会派代表者会議
- 22日 社会産業常任委員会
" 議会運営委員会
" 広報広聴委員会
- 26日 第5回市議会(臨時会)

9月定例会市議会のお知らせ

- 会期 9月8日(木)～22日(木)
- 日程 8日(木) 本会議(議案の提案)
12日(月)・13日(火) 本会議(一般質問)
14日(水)・15日(木) 常任委員会
16日(金)・20日(火)・21日(水) 決算審査特別委員会
22日(木) 本会議(議案の議決)

◆開会時間 いずれも午前10時から。
※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります。

議会をインターネットで生中継

本会議の様子を、動画配信サイトYouTube(ユーチューブ)で生中継いたします。

過去に開催された本会議、常任委員会、特別委員会も視聴することができますので、ぜひご覧ください。



「芦別市議会 YouTubeチャンネル」

編集後記

行く先々での挨拶が、「暑いです。東京生まれの私には、「東京はもっと暑いでしょ?」「昔はこんなに暑くなかったんだよ」と続きます。

先日「何色が熱中症対策に効果的なのか」という記事を読みました。風がほとんどない気温30℃の屋外で実験したところ、5分間日光に当てただけでシャツの表面温度は大きく変わりました。白、黄色がいちばん低く、少し高いのがグレー、赤でした。紫、青が次に高くなり、緑、深緑、黒がいちばん高温のグループを形成しました。その差なんと20℃以上!子どもや高齢者が真夏に外出するときは、着せてあげる服の色に注意する必要があります。紫外線を避けるには黒い色の服がいいとされますが、熱中症を避けるためには太陽光を受けても温度の上がりにくい白い色の服がよさそうです。

のどがかわいていなくても、こまめに水分をとるなど、熱中症にはお気を付けてください。(新村)

芦別市議会広報広聴委員会

- 委員長 樋坂直紀
- 副委員長 松尾達矢
- 委員 大鎌光純、林伸樹、石川洋一、松井邦男、新村充